

ロームシアター京都 レポートリーの創造 ホープス (京都・関西を拠点とする若手演出家育成事業)

目的 目標

京都を拠点とする劇場・ロームシアター京都と若手パフォーミング・アーティスト、クリエイターが共に、京都から世界へ才能を発信するプロジェクトを行う。当劇場がハブとなって、京都からダイレクトに世界を舞台に活躍するためのサポートモデルを確立することを目的とする。当劇場のプロデュース能力やネットワーク、人材育成事業のノウハウを活かし、他関連機関と連携を深めながら、若手アーティスト・クリエイターの育成を行い、京都の文化芸術の中心施設としての機能強化を図る。アーティストだけでなく、海外公演等で活躍できる制作スタッフ・技術スタッフを地域内で育成し、ひいては、京都舞台シーン全体のプロデュース力・技術力等総合的な機能強化に寄与する。

概要

選出した2名の育成対象者（アソシエイト・アーティスト）による、新作クリエイションと旧作リクリエイションを行い、2名×新旧2作品の計4作品を発表。国内公演及び海外公演を実施。

3年目までの取組

2024～2025年度は旧作リクリエイションと新作クリエイションを実施。併せて著名アーティストやプロデューサー等の指導者陣による研修を実施。2026年1～3月頃のワーク・イン・プログレスを経て、2026年9月以降に国内公演を実施。関西だけでなく関東地域でも実施し、海外キュレーター・批評家等のフィードバックを受ける。プロモーションについては、特設サイトを開設し、映像資料等を公開。海外へも育成対象者の活動や作品を周知。



◀野村真人構成・
演出『吉日再会』
(2024年5月初演)

撮影 レトロニム

西田悠哉 作・演出▶
『MUMBLE - モグモ
グ・モゴモゴ』(2023
年12月初演)

撮影：宇治田峻



5年目までの取組

海外公演に向けたプロモーションと公演準備を実施。
2027～2028年度に各演出家の海外公演実施を目指す。

中核となるクリエイターやアドバイザー



小倉由佳子（ロームシアター京都 プログラムディレクター）

2001年よりアイホール（伊丹市立演劇ホール）に勤務した後、フリーランスの舞台制作者を経て、2008年～2013年度アイホールディレクターとして、同劇場の主にダンスプログラムの公演、ワークショップを企画制作。2015年文化庁新進芸術家海外研修制度によりロンドンに1年間滞在。2016年度よりロームシアター京都勤務、2021年度より現職。

撮影：山地憲太

他、国内外で活躍するプロデューサー、劇作家・演出家、テクニカルコーディネーター等10名

国内公演（2027年度）

ロームシアター京都および近隣地域、
関東地域での公演

海外公演（2028～2029年度）

若手演出家の登竜門となる劇場・芸術祭

〈交渉予定の劇場・芸術祭〉

National Theatre and Concert Hall,
Taipei（台湾）、Esplanade（シンガポール）、
West Kowloon Cultural District（香港）、
Contemporary Asian Australian
Performance（オーストラリア）他

成果目標（見込）

目標値

文化施設の公演活動に対
する専門誌・専門家・批
評家等による評価数（高
評価）

批評家による
レビュー等
4件

国内公演を観劇する海外
キュレーター、批評家等の数

80名

本事業を紹介する記事
（新聞、雑誌、WEBメデ
ィア等）の数

40件

育成対象者：3人

野村真人（演劇／演出家）
西田悠哉（演劇／劇作家・演出家）
垣田みずき（演劇／制作・プロデューサー）

体制図

